

平成31年度 当初予算

過去最高の大型予算

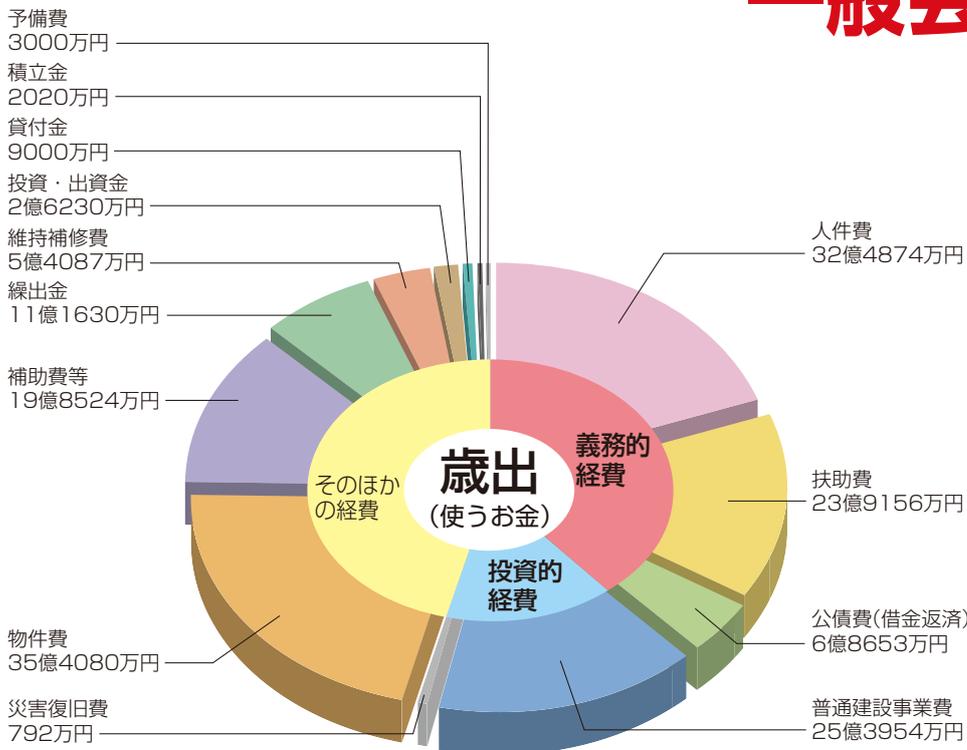
一般会計

義務的経費
63億2683万円

人件費、扶助費など義務づけられている経費

投資的経費
25億4746万円

普通建設事業費、災害復旧費など固定的な資本の形成に向けられる経費



総額251億8603万円を可決

各会計別の当初予算と採決状況

(▲は減)

会計区分		予算額	前年度比 (%)	採決の状況
一般会計		164億6000万円	6.1	反対2・賛成13で可決
特別会計	土地取得	2142万円	0.1	全員賛成で可決
	国民健康保険	32億9779万円	▲3.8	反対2・賛成13で可決
	後期高齢者医療	4億3891万円	7.2	反対2・賛成13で可決
	介護保険	20億 347万円	8.1	反対2・賛成13で可決
	幸田駅前土地区画整理事業	3億1087万円	38.9	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	3億6558万円	2.6	反対2・賛成13で可決
水道事業会計		7億9235万円	8.4	反対 2・賛成13で可決
		3億3134万円	▲12.2	
下水道事業会計		7億 406万円	-	反対 2・賛成13で可決
		4億6024万円	-	
合計		251億8603万円	6.4	

安らぎの町
丸山千代子議員
国の経済政策や消費税10%増税は、町民に格差拡大をもたらす。幼児教育・保育無償化は、公立園は100%町負担となり給食費が保護者負担で無償化といえない。学校プール運営基本構想、児童クラブの民間委託導入は行政効率優先である。法人町民税の制限税率適用と非核平和宣言で安心して暮らせる町に。

反対

賛成

討論

持続可能なまちづくりを
伊與田 伸吾議員
人口増加に伴い、子育て及び教育環境の整備などに配慮がなされた予算となっている。社会経済情勢が変動する中であって、多くの取り組むべき事業がある。必要とする財源には限りがあるも、持続可能なまちづくりを見すえたものである。「みんなでつくる元気な幸田」の実現に向け、一層の努力を期待する。